

TTC標準
Standard

JF-IETF-RFC3725

SIP における第三者呼制御 (3pcc) 手順

Best Current Practices for
Third Party Call Control (3pcc)
in the Session Initiation Protocol (SIP)

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC3725に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1.0 版	2009 年 5 月 27 日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC2119, RFC2848, RFC3261, RFC3264, RFC3312, RFC3326, RFC3262, RFC3311
RFC3550, RFC4568, RFC3380

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

第三者呼制御は、通信が実際に他の通信者間に存在する呼を生成する 1 つのエンティティの能力に言及します。第三者呼制御は、セッション開始プロトコル内で規定されたメカニズムを利用して可能である。

但し、いくつか可能な取り組みがあり、各々、長所と短所がある。本標準は第三者呼制御のための SIP 利用方法について、第三者呼制御(3pcc)の為の現最良方式案を論じる。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC3725 : 「Best Current Practices for Third Party Call Control (3pcc) in the Session Initiation Protocol (SIP)」